

## 令和2年5月 経営協議会（オンライン会議）議事録

I. 日 時 令和2年5月21日（木） 14時00分～15時52分

II. 出席者 徳久学長、犬養、河田、黒木、銭谷、西堀、舩橋、正宗、宮坂  
(オンライン) 中谷、渡邊、関、山田、松浦、堀、小澤、中村、米村、中山、山本各委員

がざー 桑古監事  
(欠席者：金原委員)

有馬、岩田、加賀見、香藤、島田、萩原各委員に対しては、審議事項1から3について、書面により照会した結果、「可」とする旨の同意があった。

III. 前回議事録について  
原案のとおり承認された。

IV. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う千葉大学学生に向けた緊急支援策について  
渡邊理事から、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う千葉大学学生に向けた緊急支援策について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。  
主な意見は以下のとおり。

◎ 今回の緊急学生支援パッケージは大変結構なことだと思う。この先までお考えいただいているということで、コロナ騒ぎもいつまで続くかわからないが、ぜひ続けていただきたい。メディア授業を開始されたということだが、参加状況がわかっていたら教えてほしい。

○ moodle あるいは Microsoft の Office365 を使用してメディア授業を行っており、ほとんどの学生が出席をしている。

○ moodle というシステムをすでに持っていたので、多様性を持たせて授業を開講している。

○ 今回の緊急学生支援パッケージには3億円を用意しているが、原資について1番大きいのが SEEDS 基金で、現在保有している基金の中で用途が特定されていないものから1億円をこの事業に充てさせていただきたい。残り2億円については、大学の自己収入から捻出予定である。これらに関しては、国庫の補助が一定割合あるかと思っている。このパッケージ以外で、例えば事務系職員については、在宅勤務のために、新たにパソコンを80台購入して、テレワークが可能なシステムを現在構築中である。あとは感染拡大防止のために新しくマスクを購入したり、消毒用のアルコール等の整備も着々と進めていて、1億円位にはなるかと思う。これらについては、大学で既に予算化している予備費やまだ支出されていない経費等をうまく活用しながら、財源を確保していく計画で進めている。

- ◎ 附属病院は患者が激減していて、収入も激減することはわかっている。その一方で、医療従事者たちは感染の恐れがあるにもかかわらず、夜中まで勤務している。東京医科歯科大学の例を紹介すると、附属病院に寄付することを目的として同窓会が募金を始めたところである。
- 千葉大学における基金の状況は、5月初旬に緊急学生支援パッケージの実施を決めて、学長メッセージを出した途端、教職員や卒業生から200件近い申し込みがあり、現在、1,800万円を超えたところである。この状況をぜひ持続的に維持できるように努めていきたい。また、例年であればもう少し後に行っているのだが、卒業生にも一斉に寄付の呼びかけを行いたいと思っている。学生支援と病院支援の2口をご案内することで発送の準備を進めているところである。
- ◎ 学生支援に関して非常に迅速に対応したことについて、素晴らしいと思っている。あとは、きめ細かな本当に必要な学生を掘り下げた支援をこれから5月、6月、7月あたりにやっていただければ良いのではないかと思う。とりあえずは早急にやるのが大事だったので、どんどん進めたことは判断として正しかったと思う。寄付金については、もう少しきめ細かく大学がやっていることを説明して募ればもっと集まるのではないか。認知度がまだ少ないのではないかと思う。もう少し切実に、大学がこういうことをやっていて、これからこういうことをしたいということアピールしていけば、真剣に寄付してくれる人がもっと出てくると思う。

## 2. 国立大学法人法第三十四条の二における土地等にかかる貸付け申請について

松浦理事から、国立大学法人法第三十四条の二における土地等にかかる貸付け申請について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

主な意見は以下のとおり。

- ◎ ラグビー校は、千葉大学以外にもこの話を進めているのか。
- 千葉大学の柏の葉キャンパス一本に絞って話が進んでいる。他には行かないことが前提になっていて、文部科学省への申請を進めている。
- ◎ とても意欲的な試みである。千葉大学の附属小中とラグビー校の中高がうまく連携できて、グローバルな教育がここでできればとても良い。この柏の葉全体が今、非常にアカデミックな地区で、さらにグローバルな教育研究拠点になっていけるという意味で話がうまく進めばよいと思った。
- ◎ 本当にこれは面白い、そしてブレイクスルーを起こすような試みだと思う。ラグビー校の日本に進出することのメリットがよくわからないのだが、その辺りはどのようにご議論されているのか。
- ラグビー校のタイ校の状況を少し調べたが、結論から言うと、イギリスが行っている教育の輸出の一環だと思う。日本の大学ではなく、海外の大学に行く学生を教育するということをねらっているのだと思う。
- ◎ 単に土地を貸すというだけではなく、契約の中で千葉大学と一緒にいろいろ考えると書いているか。そこがはっきりしないと、土地を貸しているだけという話になっ

てしまう。それから、日本で学校を作る際、学校教育法等いろいろな制約があって、その枠組みに入らないと学校として認められない。そこをどのようにして新しいものを入れていくのか、そういうことも考えなくてはいけない。日本の制度の中でやったのでは、結局日本にラグビーという名前のついた学校ができるだけになってしまう。

### 3. 令和3年度施設整備費要求事項（案）について

松浦理事から、令和3年度施設整備費要求事項（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

## V. 報告事項（◎学外委員、○学内委員）

### 1. 新型コロナウイルスへの対応について

中谷理事から、新型コロナウイルスへの全学の対応について、小澤副学長から、メディア授業の実施状況と今後の課題について、横手副学長から、医学部附属病院における対応状況について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

◎ 病院会計について、国立大学の病院長会議の幹事校でもある千葉大学は全体としてはどういった対策を取ったのか教えてほしい。

○ 全国の国立大学病院の減収減益を試算し、4月末に国立大学病院を支援する議員連盟を訪ねて陳情した。その時の議決書が厚生労働大臣に届いている。また、今週、国立大学医学部長会議を中心に、国立大学の財政面への支援、さらには現在持ち出しで行っているPCR検査への支援等々をパッケージとした依頼について、首相官邸を訪ねて安倍総理大臣にもお願いにあがってきた。安倍総理大臣からは金額の提示はなかったが、今回のコロナの一件を理由に国立を含め、大学病院を潰すということは絶対にしない、させてはならないというような力強いお言葉をいただいたところである。ただ、これがどのような形で行われるかわからないし、この1、2か月だけではなくずっと継続して行われるので、この仕組み作り、あるいは支援の形については、引き続き、国立大学病院長会議としても注視しながら、その都度要望を上げていきたいと考えている。

◎ PCR検査は、病院内で行っているのか。

○ 病院内で行っている。病院においては、まず当然のことながら患者、つまりPCR陽性の方の検査もしているが、全ての入院患者、あるいは感染の危険を伴うような検査の患者に対して、1日60件前後の検査を行っている。

◎ 3月10日の段階で、サークル活動の禁止や勧誘を禁止したのは非常に良かった。教職員、学生から感染者が出ていないというのはすごいと思う。

○ 厳しくやるべきだという話があり、通達をしっかり出した。海外に留学していた学生が2月、3月に帰国し、その後どのように経過観察するかについては、非常に工夫が必要だったが、幸いにも感染者が出なかった。この状況をなるべく長い時間続けたいと思っている。

- 附属図書館については、現在も完全閉館はしておらず、事前に申込みをしてもらえればカウンターに本を用意して貸し出すということを継続して行っている。現在、平均すると1日に50名から60名の利用がある。まずは図書館の利用が不可欠な研究をやっている方をターゲットとする等、少しずつ利用者を広げていくを考えている。
  
- 2. 令和2年度科学研究費等、外部研究費の受入れ状況について  
    関理事から、令和2年度科学研究費等、外部研究費の受入れ状況について、資料に基づき報告があった。
  
- 3. 令和2年度千葉大学入学状況等について  
    渡邊理事から、令和2年度千葉大学入学状況等及び令和3年度千葉大学個別学力検査等の日程について、資料に基づき報告があった。
  
- 4. その他
  - ①今年度の会議日程について  
        小島総務課長から、令和2年度経営協議会の開催日程について、資料に基づき報告があった。

以 上